

九州タバコ産地におけるタバコ黄斑えそ病(PVY-T)の発生
 小泉成徳・浜村浩史・高浪洋一・西村希志子・*久保 進・*今泉誠子
 (日本専売公社鹿児島たばこ試験場, *日本専売公社中央研究所)

Shigenori KOIZUMI, Hirofumi HAMAMURA, Yoichi TAKANAMI, Kishiko NISHIMURA, Seiko IMAIZUMI and
 Susumu KUBO : Occurrence of Tobacco Veinal Necrosis Disease (PVY-T)
 in Tobacco Plants in Kyushu District

タバコ黄斑えそ病はジャガイモYウイルスのえそ系統(PVY-T)によるアブラムシ伝搬性の病害で、タバコに激しいえそ症状を現す。本病はヨーロッパのタバコでは最も重要なウイルス病であり、我が国では1971年、香川県で最初にその発生が確認され¹⁾、その後、愛媛、岡山、福岡、栃木、青森²⁾の各県でその発生が認められている。九州地方のタバコにおける本病の発生は未確認であったが、本年5月に至り広範囲に発生を見たので、発生状況ならびに原因についての概要を報告する。

1. 発生状況

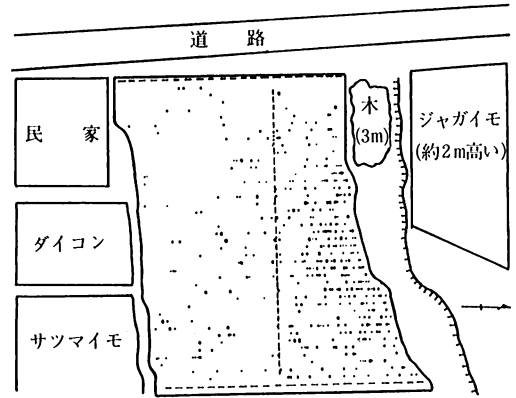
本年本病の発生が確認されたのは、鹿児島、長崎、宮崎、熊本各県のタバコ畑においてである。主たる発生地域での発生面積ならびに被害面積を第1表に示す。特に被害が大きかったのは、鹿児島県根占、指宿および長崎県島原地域であり、数カ所の畑では収穫皆無となった。これらの病株の病原ウイルスは、PVY-T特異抗血清を用いたELISA検定によってPVY-Tであることが確認された。

第1表 九州タバコ産地におけるPVY-T発生(被害)面積

県名	タバコ産地	品 種	発生面積(a)	実害面積(a)
長 崎	島 原	Va115	10885.0	320.0
鹿児島	沖永良部	MC 1	193.0	36.2
	指 宿	C 319	450.0	43.2
	国 分	"	6.0	3.0
	市 来	"	72.0	4.0
	根 占	"	1000.0	287.0
"	種子島	"	1.0	1.0
宮 崎	宮 崎	"	100.0	2.0
計			12707.0	696.4

2. 発生要因

本病が発生したタバコ畑の周囲にはジャガイモが栽培されていて、ジャガイモ畑に近いほどその発病率が高い傾向にあった。発生畑における罹病株の分布と周辺作物等の状況の調査例を第1図に示す。このタバコ畑の北側には約2mの段差があって、そこにジャガイモが栽培されていた。本病の発生株は北側ほど多く、また高さ約3mの樹木の南側では、ジャガイモ畑に近接しているにもかかわらず発病率が低かった。これらの状況は、ジャガイモがPVY-Tを保有していて、それがアブラムシによって伝搬された様子を如実に示していると思われる。



第1図 PVY-T発生畑における罹病株の分布

3. タバコ畑周辺ジャガイモの検定

本病が発生したタバコ畑周辺のジャガイモ畑から、塊茎あるいは葉を採集した。これらの試料についてタバコを検定植物として接種試験を行った結果、77点中20点からPVY-Tが検出された(第2表)。なお、PVY-T罹病ジャガイモは明瞭な症状を示さない。

以上の結果から、九州地方のジャガイモもPVY-Tに汚染され、タバコの本病の越冬寄主ならびに感染源となっていると推察される。

第2表 タバコ畑周辺のジャガイモからのPVY-Tの検定結果

採取地	接種源部位	検定個体数	発病個体数
鹿児島県根占町古殿	葉	1	0
" 根占町古殿	塊 茎	22	3
" 根占町浦	"	6	1
" 根占町西本	葉	1	0
" 根占町川原	"	1	1
" 根占町川原	塊 茎	8	2
" 指宿市西方	"	18	3
鹿児島市上福元町 A	葉	5	2
" B	"	5	3
" C	"	10	5

引 用 文 献

- 1) 宇田川晃・都丸敬一：日植病報, 38, 210, 1972.
- 2) 鈴木郁男・都丸敬一・沢 幸男・荒木幹男：盛岡たばこ試報, 17, 97~106, 1983.